



平成23年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月28日

上場会社名 アスカ株式会社
 コード番号 7227 URL <http://www.aska.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉本 篤哉
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 竹之内 敏昭
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 0566-36-7771

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年11月期第3四半期の連結業績(平成22年12月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年11月期第3四半期	11,645	△16.0	43	△87.6	105	△76.5	28	△87.8
22年11月期第3四半期	13,858	43.9	353	—	449	—	237	—

(注) 包括利益 23年11月期第3四半期 —百万円 (—%) 22年11月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年11月期第3四半期	5.07	—
22年11月期第3四半期	41.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年11月期第3四半期	15,979	4,253	26.6	744.94
22年11月期	16,793	4,291	25.6	751.56

(参考) 自己資本 23年11月期第3四半期 4,253百万円 22年11月期 4,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年11月期	—	0.00	—	8.00	8.00
23年11月期	—	0.00	—	—	—
23年11月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成23年11月期の連結業績予想(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	△12.3	110	△68.3	180	△63.1	80	△69.9	14.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年11月期3Q	5,715,420 株	22年11月期	5,715,420 株
② 期末自己株式数	23年11月期3Q	5,736 株	22年11月期	5,736 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年11月期3Q	5,709,684 株	22年11月期3Q	5,709,684 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業務予想は本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、低下した企業の生産活動が急速に回復に向かっているものの、米国の国債の格下げによる急激な円高等によって、日本経済の不透明感は、より一層強いものとなりました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高116億4,532万円（前年同四半期比16.0%減）、営業利益4,381万円（前年同四半期比87.6%減）、経常利益1億575万円（前年同四半期比76.5%減）、四半期純利益2,895万円（前年同四半期比87.8%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

〔自動車部品事業〕

東日本大震災の影響により生産が一時ストップした結果、当事業の売上高は82億8,216万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は12億306万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

I T関連の制御システムが落ち込んだ結果、当事業の売上高は18億8,084万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

〔その他〕

新入社員教育に関する受注活動を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は2億7,925万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

第3四半期連結会計期間末の総資産は159億7,908万円の前連結会計年度末に比べ8億1,458万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

負債は、117億2,572万円で、前連結会計年度末に比べ7億7,677万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

純資産は、42億5,336万円で、前連結会計年度末に比べ3,781万円の減少となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、26.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ5,763万円減少し、4億4,045万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1億138万円（前第3四半期連結累計期間は14億2,175万円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4億5,197万円（前第3四半期連結累計期間は4,833万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は2億9,926万円（前第3四半期連結累計期間は15億374万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成23年6月29日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実施たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	440,452	498,084
受取手形及び売掛金	3,145,066	3,523,119
製品	100,931	89,865
仕掛品	868,631	984,219
原材料及び貯蔵品	321,920	290,361
その他	635,278	646,262
貸倒引当金	—	△258
流動資産合計	5,512,279	6,031,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,636,070	2,774,026
機械装置及び運搬具(純額)	1,648,246	1,895,499
土地	3,689,395	3,689,395
その他(純額)	495,407	458,025
有形固定資産合計	8,469,119	8,816,946
無形固定資産	22,653	26,832
投資その他の資産		
投資有価証券	1,031,664	1,065,708
その他	943,368	852,526
投資その他の資産合計	1,975,033	1,918,234
固定資産合計	10,466,806	10,762,013
資産合計	15,979,086	16,793,668
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,987,440	2,330,064
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,896,044	2,019,440
未払金	1,182,130	1,603,041
未払法人税等	5,654	20,962
賞与引当金	93,134	13,752
その他	303,371	693,803
流動負債合計	7,167,776	8,381,064
固定負債		
長期借入金	3,826,341	3,358,038
退職給付引当金	511,437	548,348
役員退職慰労引当金	220,165	215,040
固定負債合計	4,557,944	4,121,427
負債合計	11,725,721	12,502,492

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	901,555	901,555
利益剰余金	2,431,212	2,447,939
自己株式	△3,505	△3,505
株主資本合計	4,233,105	4,249,832
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,259	41,344
評価・換算差額等合計	20,259	41,344
純資産合計	4,253,364	4,291,176
負債純資産合計	15,979,086	16,793,668

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)
売上高	13,858,487	11,645,327
売上原価	12,658,343	10,830,473
売上総利益	1,200,143	814,853
販売費及び一般管理費	846,662	771,036
営業利益	353,481	43,817
営業外収益		
受取利息	3,609	707
受取配当金	19,847	19,833
持分法による投資利益	4,980	—
助成金収入	83,758	87,376
その他	37,490	22,646
営業外収益合計	149,687	130,565
営業外費用		
支払利息	52,114	44,379
その他	1,439	24,251
営業外費用合計	53,554	68,631
経常利益	449,614	105,751
特別利益		
貸倒引当金戻入額	398	258
投資有価証券売却益	30,603	12,009
固定資産受贈益	2,000	—
その他	8	—
特別利益合計	33,010	12,268
特別損失		
前期損益修正損	—	23,719
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	4,587	31,646
投資有価証券評価損	63,319	—
会員権評価損	400	—
その他	—	4,120
特別損失合計	68,306	59,488
税金等調整前四半期純利益	414,317	58,531
法人税、住民税及び事業税	29,259	10,121
法人税等調整額	147,518	19,459
法人税等合計	176,777	29,580
少数株主損益調整前四半期純利益	—	28,950
四半期純利益	237,540	28,950

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	414,317	58,531
減価償却費	758,232	649,220
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	△258
賞与引当金の増減額 (△は減少)	99,763	79,382
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△54,350	△36,911
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,125	5,125
デリバティブ評価損益 (△は益)	△360	12,125
投資有価証券評価損益 (△は益)	63,319	—
会員権評価損	400	—
受取利息及び受取配当金	△23,457	△20,541
支払利息	52,114	44,379
持分法による投資損益 (△は益)	△4,980	—
固定資産除売却損益 (△は益)	4,579	28,025
投資有価証券売却損益 (△は益)	△30,603	△12,009
売上債権の増減額 (△は増加)	△377,976	378,053
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△111,570	72,964
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,137	△342,624
未払金の増減額 (△は減少)	359,320	△409,344
未払消費税等の増減額 (△は減少)	52,406	△66,762
その他	121,027	△296,843
小計	1,320,178	142,510
利息及び配当金の受取額	25,455	21,911
利息の支払額	△51,752	△44,015
法人税等の支払額	△34,987	△23,891
法人税等の還付額	162,864	4,868
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,421,758	101,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△276,470	△331,933
有形固定資産の売却による収入	804	59
無形固定資産の取得による支出	△880	△4,834
投資有価証券の売却による収入	235,610	12,009
関係会社出資金の払込による支出	—	△169,785
貸付けによる支出	△9,436	△2,800
貸付金の回収による収入	2,350	4,543
差入保証金の回収による収入	—	44,000
その他の支出	△788	△7,270
その他の収入	472	4,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,337	△451,973

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,400,000	—
長期借入れによる収入	3,050,000	2,100,000
長期借入金の返済による支出	△2,153,665	△1,755,093
配当金の支払額	△81	△45,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,503,746	299,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,834	△6,308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△121,491	△57,632
現金及び現金同等物の期首残高	470,228	498,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	348,737	440,452

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)

	自動車部品事業 (千円)	配電盤事業 (千円)	ロボットシステム事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	10,071,264	1,203,702	2,293,506	290,013	13,858,487	—	13,858,487
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,531	292,498	97,075	2,065	397,171	(397,171)	—
計	10,076,795	1,496,201	2,390,582	292,079	14,255,658	(397,171)	13,858,487
営業利益	132,004	11,851	159,395	47,117	350,368	3,113	353,481

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品又は内容

事業区分	主要製品又は内容
自動車部品事業	フロア(フロント・リア)、ピラー(フロント・センタ)、マフラー、フード、センタメンバ、サスペンションアーム等
配電盤事業	分電盤、制御盤、FAボックス、盤用キャビネット等
ロボットシステム事業	産業用ロボット(ユニロボ)、自動化システム、制御装置、情報通信機器等
その他の事業	人材教育及び研修事業

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業部制を採用しており、「自動車部品事業」、「配電盤事業」及び「ロボットシステム事業」の3つを報告セグメントとしております。

「自動車部品事業」は、フロア、ピラー、マフラー、フード、センタメンバ、サスペンションアーム等の自動車部品を製造販売しております。

「配電盤事業」は、分電盤、制御盤、FAボックス、盤用キャビネット等の製造販売をしております。

「ロボットシステム事業」は、産業用ロボット(ユニロボ)、自動化システム、制御装置、情報通信機器等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,282,162	1,203,060	1,880,847	11,366,070	279,256	11,645,327	—	11,645,327
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,553	130,230	74,931	208,715	2,615	211,331	△211,331	—
計	8,285,716	1,333,290	1,955,778	11,574,785	281,872	11,856,658	△211,331	11,645,327
セグメント利益 又は損失(△)	△88,654	△34,347	124,884	1,883	38,828	40,712	3,105	43,817

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材教育及び研修事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,105千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。